



<高級住宅が好調なAハウジング>

最近半年ぐらい前から分譲の引き合いが減った半面、高級住宅の動きは堅調であるとお話でした。中津川エリアの15区画くらいの現場を見学させていただきましたが、2/3くらいは既に建っており、残りの区画はじっくり販売していく意向だそうです。



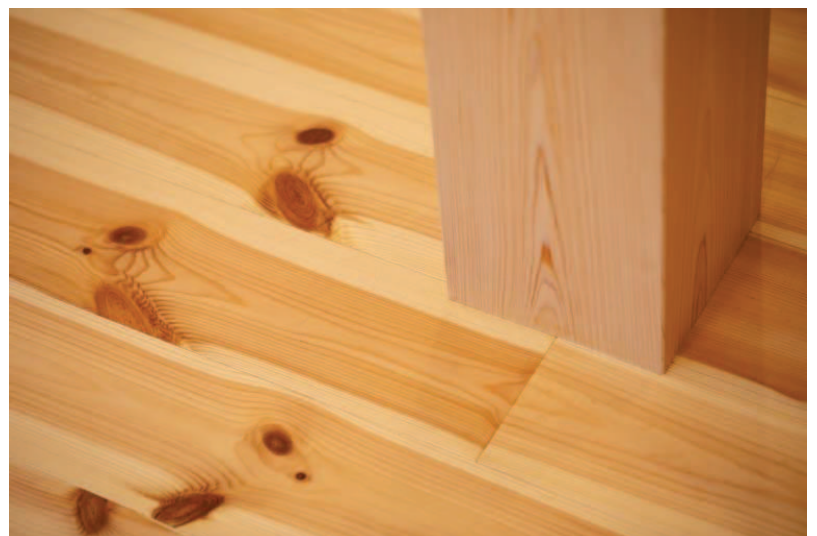
<平屋のモデルハウス……なんと当日販売>

同じ中津川エリアに平屋のモデルハウスも展開されており、こちらは好調みたいです。担当の部長さんが私たちの前で電話を受けておられましたが、なんとその日に契約が成立したとのこと。ビックリしました。

内外装にもスギを多用されて、床は無垢のナラフローリングを敷かれていました。またキッチン等にはクリの一枚板のカウンターをつけられており、テーブルも同じく栗の幅接ぎで作られていました。

壁もしつこくに木粉を混ぜて塗られており、お施主さんが一目で他社との差別化を感じられそうです。

他にもこだわりとして押入れの中には桐が貼ってあり、布団などの乾燥にも心配りが。窓も樹脂サッシで、エアコン1台で空調が可能とのこと。これも平屋ならではのメリットかも？



今回の訪問先は恵那を中心に活動されてみえるAハウジングさん。
社員さんは25名ほどで、新築住宅や分譲住宅、非住宅や不動産販売まで行っています。また、エリアも東濃から岐阜エリア、一部愛知までとアグレッシブな経営をされています。
社長の娘婿さんの専務さんも、後継者としてぎふの木ネット協議会の取り組みへ積極的に参加いただいています。



<非住宅に関する要望>

最近は倉庫などの引き合いが多く、今まではYSSといったシステム鉄骨建築等を利用してみえたところ、今後木質化も考えており、できれば協議会として木でつくったシステム建築を考えて欲しいとの要望もありました。現在使われているYSSのホームページを確認したところ、メリットとして

- 設計・施工の一環サポート、アフターケアまで全部おまかせ
 - 短納期かつ低コストで最大限の理想を叶えます
 - 大空間・大容量で思い通りのレイアウト
- といった点が挙げられています。

これを木造でやっていければメリットは多そうです。簡単ではないと思いますがトライする価値はありそうです。

ぎふの木ネット これからの方向性を考える

<ニーズへの対応>

構造設計士等のプロチームを結成して取り組んでいくことが需要に対し解決する道筋をつくる。まさしくぎふの木ネットのミッションかと存じます。先般、県への要望の中にも公共建築物、民間非住宅建築物への木材利用の拡大として

◎建築物の標準化と資材の規格化による流通の効率化や低コスト化資材を実現するパッケージの開発支援

という項目を盛り込みましたが、まさしく現場での必要性を痛感しました。



<大手ビルダー 岐阜進出急テンポ>

例えば国道21号線沿いでもAグローバルがあり、すぐ隣にCホームの展示場。3~4棟を1カ所で建設し、消費者のニーズに対応していく戦略なのか。また関西系のI工務店やY住建等も進出しており、40万都市の岐阜はまさしく外部からの勢力にさらされています。

<地域ビルダーの目指すべき方向性は>

ここ1年で、MOKUTOWNに出展いただいた30軒ほどのビルダーさんを訪問して感じたこと。やはり地域ビルダーの強みはやはり地域であるということ。地域の特性の把握はもちろん、社員さんも地元の方が多く地縁、血縁のつながりも大きなプラスです。後はブランドと競争力の確立か？

その先に地方創生！！



ぎふの木ネット協議会



ぎふの木ネットグリーンリノベ分科会 いよいよ始動

社会課題への解決をビジネス化する。言うは易し行うは難し。しかしチャレンジしなければ進みません。今後、社会問題化する **空き家問題** です。

現在、国内に**850万戸位**の空き家が存在しますが、2033年、つまり**10年後**には**2,000万戸位**に増加する予測です。

つまり**3軒に1軒が空き家**になりそうです。

<今すべきこと>



空き家にしない予防

現在の空き家の利用
あるいは処分

こうしたことに対しプロジェクトチームが発足し、コンサルタント等も入り11月10日にキックオフミーティングが開かれました。

参加団体は岐阜放送様、十六銀行様、大垣共立銀行様、岐阜県(林政部様、都市建築部様)、一般社団法人ハウスサポート様、ぎふの木ネット協議会 他

まずは専門部会からスタートして、着実にゴールに近づきたいと考えています。

グリーンリノベ分科会説明会を開催いたします

2024年2月7日に、リフォームと空き家対策のシステム化について考え地域の社会問題に取り組むぎふの木ネット協議会の専門部会「**グリーンリノベ分科会**」の説明会を、一般社団法人ハウスサポート様と開催いたします。

日時:2024年2月7日(水) 14:00~16:00

場所:OKBふれあい会館14階 展望レセプションルーム

〒500-8384 岐阜県岐阜市藪田南5丁目14番53号

※定員の関係で先着50名様、1社につき2名様までのお申し込みとなります

申込用紙を同封しましたので、FAXもしくはWEBよりお申し込みください

皆様の参加をお待ちしております



ぎふの木ネット協議会



ぎふの木ネット 年末フォーラムを開催しました

12月7日(木)に、岐阜グランドホテルにて「ぎふの木ネット 年末フォーラム」を開催しました。
年の瀬でお忙しい中お越しくくださった皆様、誠にありがとうございました。

第1部では会長の挨拶の後、まずFOREST MEDIA WORKS株式会社の代表取締役の檜崎 達也様に講演「ビジネス協定は小さく生んで大きく育てる」をしていただきました。サプライチェーンやその中の協定を考える上で、大変参考になる内容でした。

次に、東京都立大学名誉教授の星 旦二先生に講演「健康住宅を作りましょう」をしていただきました。

暖かい住宅が健康を促進することをはじめ、健康を維持するための生活習慣や考え方等、いろいろと考えさせられる内容でした。

さらに、星先生・岐阜大学応用生物科学部教授の光永 徹先生・協議会会長によるトークセッションでは、木材の性能を活かした家づくりと健康住宅の2つの側面から、今後の住宅づくりのあり方について議論が交わされました。

第2部では、立食形式での懇親会を開きました。
和やかな雰囲気の中で、協議会会員様同士の交流や、各出展メーカーによる展示や実演が行われました。



会員の方への情報を募集します

会員の皆様へのご報告として、ぎふの木ネット通信を発行し(年6回程度)、協議会の活動報告などをお伝えしていきます。

今後は会員の皆様同士の情報共有を図るために、皆様からの貴重な情報を頂き、その情報を会員の皆様へ周知したいと考えております。

展示会や近況など、お知らせしたい内容がありましたら、ぜひ事務局までご連絡ください。

(チラシなどの印刷物をご提供いただければ、ぎふの木ネット通信の中に同封して会員の皆様にお送りします。)

